

# 新型光学フィルム用塗工機を開発 金属印刷機は海外市場で拡販へ

## 富士機械工業

特殊印刷機の本国内トップメーカー富士機械工業(株)安芸郡府中町茂陰二丁目三十一七、和田隆雅社長は、液晶テレビや携帯電話などのディスプレイ部分に使う光学フィルム用塗工機の新型機「MCDマイクロチェンバー」を完成、テスト稼働を始めた。世界最速のスピードで、より薄く、幅広く、均一に塗工できる。また、国内で販売してきた金属板用印刷機を、今後の需要増を見込む中近東やインドなどの海外市場へ投入する。

新型機は、現在で最大サイズの幅二・二メートルのワイド光学フィルムに対応。毎分五〇以上の世界最速の運転速度、〇・三秒の薄さで均一に塗工する。開放方式に比べてVOC(揮発性有機化合物)の排出量を六七％削減できる密閉型にした。国内企業一社に新型機を貸し出して3月からテスト稼働。八本松工場内のクリーンルームで新型機のデモンストレーションを行い、10年4月から本格販売する。向こう二年間は毎年、価格三億円のフルセット二台、五〇〇〇万円のユニット単体四台の販売を目標。FPD(フラットパネルディスプレイ)市場は世界で二兆円規模といわれ、液晶ディスプレイの製造に不可欠な光学フィルム用塗工機の需要は今後も拡大が見込めるとしている。塗工機分野で09年8月期は前年と同程度の売上げ四〇億円強を達成。電気製品や食品容器などに印刷する四色UVの金属印刷機「PRIMEX-IP452」は、これまで国内と中国市場で販売してきたが、現在は飽和状態。作業の自動化による生

産効率化や高精度、耐久性などを強みに、中近東やインド、北アフリカ、ロシアなどで需要を掘り起こす。3月には海外向け内覧会を開催。タイやインド、リビアの製缶メーカー、食品関連会社などが参加した。金属印刷機分野だけで09年8月期は前年比五億円増の売上げ二五億円を目指す。10年には新形機を完成する予定

## シーコム 本社に自動倉庫を完成

自動車部品試作のシーコム(中区光南五丁目二四一、岩本浩社長)は、本社敷地内に入庫作業を自動化した倉庫を完成、3月31日から稼働させた。

新倉庫は二階建の延約二四四平方メートル。自動車や航空機部品の金型、材料などを保管する。離れていた倉庫を本社敷地内に移すことで、運搬時間を短縮して生産効率を高める。同社は主力の自動車部品試作に次ぐ事業として、ジェットエンジン用タービンブレード、産業用ガスタービンを中心に航空機部品の製造にも注力。新倉庫は将来、航空機部品工場への転用も視野に入れていた。本社工場に短時間で高精度の金型を製造できる加圧能力一六〇トンのサーボプレス機を導入し、3月から稼働させた。

## 生体分子計測研究所 食品検査装置を開発

食品・環境検査サービスの(株)生体分子計測研究所広島研究所(東広島市鏡山三丁目一三六〇、岡田孝夫社長)は、短時間で食品やウイルスなどの検査ができる「マイクロ流路式迅速ELISA(酵素免疫測定法)検査システム」を開発、10月の実用化を目指す。

試料中に含まれる抗体や抗原の濃度を検出するELISA法は、食中毒菌や食物アレルギーなどの食品検

査、ウイルス検査、基礎研究などに利用されている。従来の検査は操作が煩雑で約四時間を要していたが、新システムは微量の試料で数十分間に九六サンプルまで同時測定できる。価格三〇〇万円を想定。食品メーカーや研究機関などに販売する。同社はアレルギーや遺伝子組み換え食品の品種判別、ノロウイルス、残留農薬などの検査サービスをを行っている。

## 市産業振興センター 女性・シニア創業支援先を決定

(株)広島市産業振興センターは、女性や五〇歳以上のシニアの創業を支援する「女性・シニア創業パッケージ型支援事業」で佐伯区の女性一人を事業認定した。

▽東條典子さん(小学生対象の放課後、休日の学童保育。子供の預かり終了後や休日に留守家庭の小学生を預かることで、働く保護者や社会進出する女性を支援する。パッケージ型支援事業は一〇〇万円以下の助成金と、二年間の経営アドバイザーの派遣、一〇〇〇万円以下の融資などで創業を後押しする。

産振構のVBサロン (株)ひろしま産  
3社が事業プラン発表 業振興機構は  
3月25日、県

情報プラザで「ひろしまベンチャー交流サロン」を開催。機関投資家や商社などに対し、次の三社が事業プランを発表した。▽(株)生体分子計測研究所(東広島市) ▽食品・環境検査サービス。▽(株)ソフト商会(安佐南区、坂本哲一郎社長) ▽中小企業向け事務サポートサービス「三方よし」。▽アイクリーテックワールド(株)(西区、加川順一社長) ▽IPHシステム 内圧充填接合補強工法。

▽(株)ネクストビジョンは4月28日午後2時20分から「ITフリーセミナー」を広島商工会議所で開く。参加無料。(電)三三一―一五七六。

# 布団リースや医療関連を拡充 “運ぶ”サービスに付加価値

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

軽自動車運送業の中国カーゴ軽自動車運送協(中区舟入幸町二〇一―二六、河野正男理事長、七社)は、中期五カ年計画を策定し一般向けに布団のリース事業を始めた。二四時間対応で、急やセキユリテイーを要するスポット便などで培った「運ぶ」ノウハウを生かし、布団だけでなく食品や医療関連、電子部品などを対象に、付加価値の高い運送サービスを拡充していく。

布団リースは、工事現場や研修施設などの業務用に限定していたが、一般向けに平和学習や合宿、行事など一〇〇人規模に対応するサービスを広島地区で新たに開始。貸し出し期間は希望に応じる。計画では布団リースのほか、岸工業(南区)と共同開発した保冷ボックスを活用する食品や医療関連など、品質を確保する定温運送の体制をさらに充実させる構え。医療関連は受注先の拠点統合に伴って中国地区は広島へ集約することにになり、新たに発生する運送需要に対応する。

従来のスポットやチャーター便は顧客一〇〇社を抱え、陸送や航空便のハンドキャリーは大手電子機器メーカー向けなどを中心に電子部品、医療用部品の運送が増えている。経済情勢の悪化でスポット受注は減少しているが、付加価値サービスによる運送対象の拡大で、五年後の一三年度で、年商規模を現在から倍増の

絆を強く、  
組合 信用  
組合 広島商銀

二億円に引き上げる計画だ。

## 小松自動車

### 企業向け板金塗装サービス

自動車板金塗装の④小松自動車(東区福田六丁目二四五一―二、小松誠社長)は、中小企業向け板金塗装サービス「宅配Car板金楽治郎」を5月から始める。

通常は修理工場まで車両を持ち込む必要があるが、同サービスは営業車両を企業から引き取って塗装や傷へこみの修理をし、終業時刻までに返却する。修理に一日以上掛かる場合は代車を貸し出す。社員の通勤用車両の修理にも対応する。営業専門のスタッフ一人を採用予定。車で片道二〇分圏内の企業を対象に、初年度は月五〇台の入庫を目標。同社は特認二種の優良車体整備工場を持ち、



## 新銘菓 もみじの生菓子

ホンダの下請けが売上げの六割を占める。

## パル

### 洗剤ギフトを開始

ギフトセット企画製造の⑤パル(佐伯区五日市町上河内一五三―三、江川陽久社長)は、これまでの食品に加え、9月から洗剤ギフトの扱いを始める。

砂糖や塩、飲料などの食品を扱っており、低価格商品を一〇〇円ショップのダイソーで、ギフトセット約一〇〇アイテムをシャディやロワールなどのカタログで販売している。調味料や菓子ギフトも開始。新たに、花王の洗剤をメインにサニタリーや掃除道具を詰め合わせたギフトセットを企画。一〇〇〇―一五〇〇〇円の価格帯で約一〇種類を用意する。09

年3月期売上げは三億三〇〇〇万円を見込む。新ギフトを加えることで10年は三〇〇〇万円増を目指す。

## ハッピーハーツ

### 企業向けコーチングを開始

⑥ハッピーハーツ(安芸郡府中町瀬戸ハイム二丁目二四―二四、占部千代子社長)は、中小企業の社員向けに「コーチング研修」を4月から始めた。

占部社長は04年にコーチング講師の資格を取得。個人向けコーチングや県内のカルチャーセンターの講師を行ってきた。企業や組合、団体向けのコーチング研修は、社員のやる気を高めて目標を達成させ、コミュニケーション能力を育てるといふ。管理職や女性に特化した研修も用意。利用料は三〇人程度のグループ研修で一日一〇万五〇〇〇円など。コーチングは心理学や成功哲学、行動科学などを基にした自己改善の指導技術。

## ソフト商会

### 遠隔操作で事務支援サービス

アプリケーション開発の⑦ソフト商会(安佐南区長東西四丁目一一九、坂本哲一郎社長)は、インターネットを活用した中小企業向け事務支援サービス「三万よし」を始めた。

利用企業は低コストで伝票整理、帳簿記帳、仕分け入力などができる。約二〇年間販売し、県内中心に七〇〇社以上に導入してきた経理・営業管理の統合システムの廉価版を開発。テンキーだけで操作し、科目を指示すると自動的に仕分けする。トラブル発生や操作方法が分からない時は、同社がネットを通じてシステムを遠隔操作する。価格は初期費用三万円、月額八〇〇〇―一万二〇〇〇円(先着一〇〇社は二割引)。販社を募り、全国の個人事業者や中小企業を対象に年間三〇〇社の利用を目指す。